## 3-3.「キラリと光る地方大学」となるための具体的戦略【★】

○高知大学物部キャンパスを施設園芸の生産性向上に革命をもたらすと期待されている「I o P (Internet of Plants)」の研究と人材育成の世界トップレベルの拠点にすることにより、全国や海外から学生や外国人留学生、研究者、企業を呼び込む

## 具体的戦略

トップクラスの人材招へい



本プロジェクトを通じて、最先端の研究成果と卓越した若手研究者の輩出を図る

研究成果を大学教育や社会 人教育に反映させ、高度で多 様な人材を多数輩出する



高知大学物部キャンパスを拠点に、基礎研究から応用研究、 実用化まで一貫して行える体制を構築する

拠点に国内・海外の企業の研究者も集い、様々な研究が推進され、世界トップレベルの IoP研究拠点として海外からも認知される

高知大学で学ぶことを希望する 意欲ある学生や外国人留学生 が全国や世界中から集まる

## 「高知大学物部キャンパス」を核とした戦略の展開図

基礎研究から応用研究、実用化まで一貫して行える 世界トップレベルの I o P 拠点

Next次世代型施設園芸農業の進化に向けた IOP等の最先端の研究

「医学」×「農学」×「工学」

・全国や海外の企業等との最先端の研究

高知県農業技術センター

IOP推進機構

(仮称)

研究成果を反映

研究に参画



集積

九州大学大大学院

北野雅治教授の招へい

境調節の第一人者)

(植物の牛体情報と環



社会人 教育

- IoPの基礎を学ぶ場「IoP塾(仮称)」
- ●土佐 F B C (研究開発人材育成コース)

輩出

- ○多様な人材(Next次世代型施設園芸生産者、I o P の若手研究者、 イノベーティブな人材)
- ○農・食・健康が融合した新しいビジネスの創出

